

# 第76期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

株主のみなさまへ

証券コード：4228

## トップメッセージ

### 中期経営計画

# 「Make Innovations Stage-II」の初年度を迎えて

当中間期の発泡プラスチック業界におきましては、原油価格の動向や物流コストの上昇などにより厳しい経営環境が続きました。また、大型台風など相次ぐ自然災害の影響や消費増税による消費マインドへの影響も懸念されます。

このような経営環境のなか、当社グループは前中期経営計画で取り組んだ変革をさらに強化すべく、新中期経営計画「Make Innovations Stage-II」（2019年度～2021年度）を策定し、「事業ポートフォリオの変革」と「収益体質強化に向けた戦略の実行」を進化させるとともに、環境リーディングカンパニーの位置づけを確固たるものにするため、施策を着実に推進しております。また当中間期には、前期に買収しましたProseatグループの2019年1月1日から6月30日までの6カ月間の業績を含めております。

その結果、連結売上高は699億5千6百万円、連結営業利益は20億5千7百万円、連結経常利益は17億8千万円、親会社株主に帰属する中間純利益は11億8千7百万円となりました。

当中間期の配当につきましては、1株につき13円とさせていただきます。中間配当金の支払開始日は12月4日となります。なお、期末の配当につきましては、17円を予定しております。

今期の見通しにつきましては、連結売上高1,450億円、連結営業利益49億円、連結経常利益48億円、親会社株主に帰属する当期純利益32億円を見込んでおります。

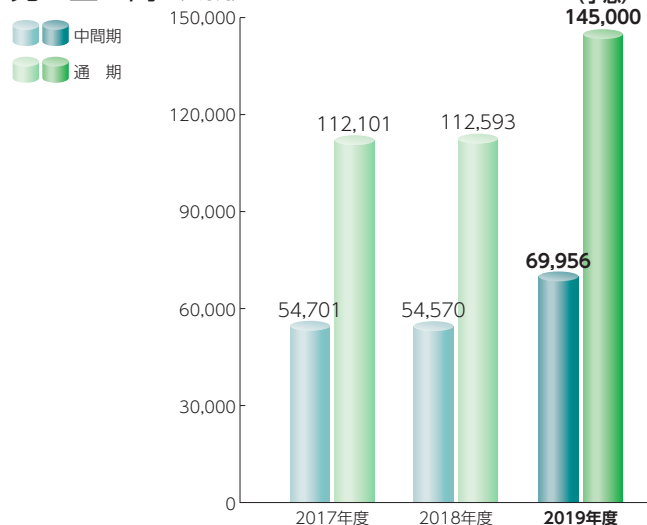
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

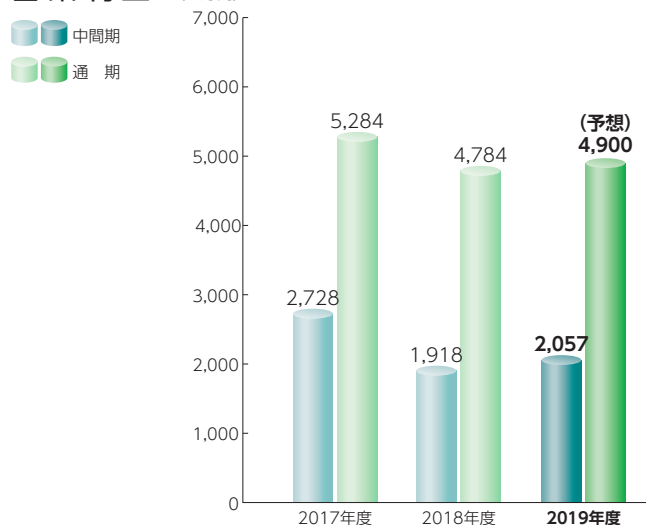
柏原正人



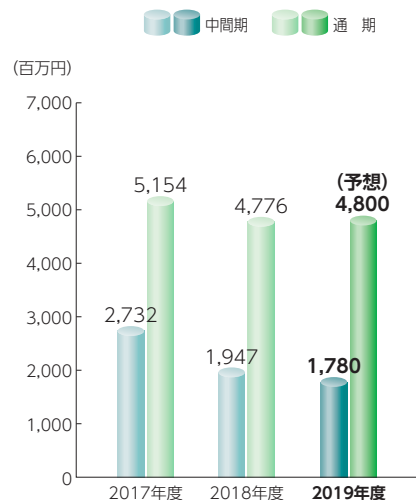
## 売上高



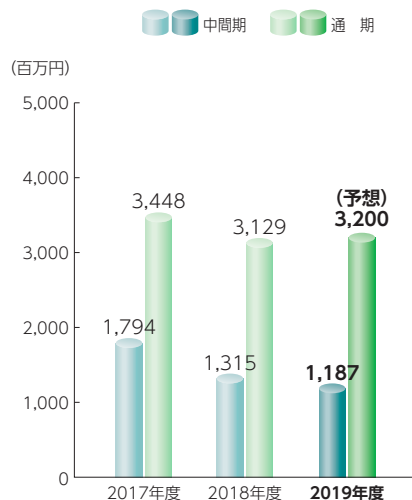
## 営業利益



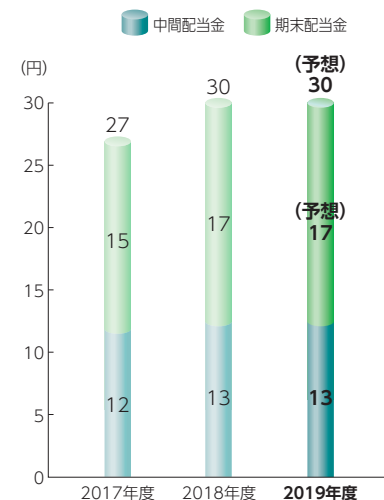
## 経常利益



## 親会社株主に帰属する当期純利益



## 配当実績

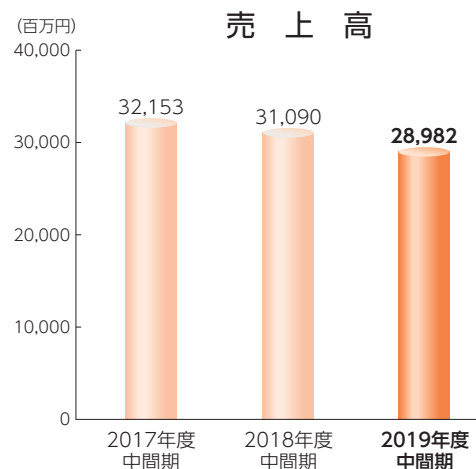


## 2019年度中間期の事業別概況 (連結)

### 生活分野 (ヒューマンライフ)

売上高 ..... 28,982百万円  
 売上構成比 ..... 41.4%

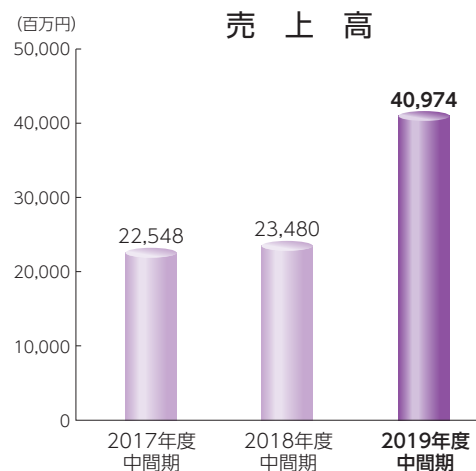
食品容器関連は、第1四半期後半からスーパーやコンビニエンス向けなどの需要に盛り上がりを欠く状況となりました。また、農産関連は堅調に推移しましたが、水産関連は漁獲量の減少により需要低迷が続きました。一方、建材・土木関連では、競技施設やそれに付随する建築・道路工事など、主に首都圏での物件獲得が寄与し、好調に推移しました。主力製品である「エスレンシート」の売上数量は、汎用食品容器向けは堅調に推移しましたが、前期に好調であった電子レンジ加熱に対応した耐熱食品容器向けの伸長が一巡し、前年同期並みとなりました。「エスレンビーズ」の売上数量は、盛土用途の需要が好調だったものの、その他の需要は総じて低調となり、前年同期並みとなりました。



### 工業分野 (インダストリー)

売上高 ..... 40,974百万円  
 売上構成比 ..... 58.6%

家電・IT関連では、「ピオセラン」などを用いた液晶パネル搬送資材用途において、北東アジアで伸長し前年同期を上回りました。一方、「テクポリマー」は、液晶パネルなどの光拡散用途において、在庫調整の影響が継続し、前年同期を下回りました。自動車関連では、「ピオセラン」などを用いた部材用途において、国内での堅調な推移に加え、グローバルでも採用が拡大しました。医療・健康関連では、「テクノゲル (ST-gel)」は、貿易摩擦などの影響を受け低調に推移しましたが、「エラスティル」は、ランニングシューズのミッドソールの量産が開始され、新規モデルの採用も進み売上が伸長しました。Proseatグループについては、欧州自動車メーカーの販売不振などの影響を受け低調に推移しました。



# トピックス

## CMT成形品がユニットバスに採用

「CMT成形品」は、ビーズ法発泡成形品（EPS）と、表面フィルム層をラミネートした押出法発泡シート（PSP）を組み合わせた複合成形品で、それぞれの利点を組み合わせることができる発泡体です。この度、積水ホームテクノ株式会社様のユニットバスの浴槽床材（浴槽パン）として採用されました。

今回採用されたCMT成形品は、EPSの高断熱性や軽量性・形状付与性と、PSPの表面意匠性や防水性を組み合わせることで、従来にない浴槽パンの製品化を実現しました。

これからも、住宅設備や家電などの軽量構造材として展開をほかり、様々なニーズへの対応を進めていきます。



## 中間連結財務データ

### ■ 中間連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

資産の部	当中間期 (2019年9月30日現在)	前 期 (2019年3月31日現在)
流動資産	57,895	64,826
固定資産	91,698	88,665
資産合計	149,593	153,491

(注) Proseatグループとの企業結合について、前期の暫定的な会計処理が当中間期で確定しましたので、確定した金額を反映しております。

### ■ 中間連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

	当中間期 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前中間期 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	69,956	54,570
営業利益	2,057	1,918
経常利益	1,780	1,947
親会社株主に帰属する中間純利益	1,187	1,315

(単位：百万円)

負債・純資産の部	当中間期 (2019年9月30日現在)	前 期 (2019年3月31日現在)
流動負債	46,400	56,264
固定負債	36,218	30,266
負債合計	82,618	86,531
純資産合計	66,974	66,960
負債・純資産合計	149,593	153,491

### ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

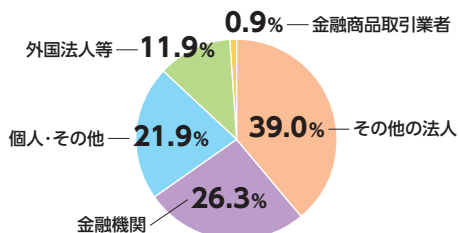
	当中間期 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前中間期 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,733	2,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,509	△ 4,099
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,735	2,149

# 株式の状況 (2019年9月30日現在)

## 発行株式数および株主数

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
124,751,000株	46,988,109株	5,737名

## 所有者別分布状況 (所有比率)



(注) 所有比率は、自己株式 (1,668千株) を控除して計算しております。

## 大株主

株主名	所有株式数 千株	所有比率 %
積水化学工業株式会社	9,855	21.75
第一生命保険株式会社	3,031	6.69
積水化成成品従業員持株会	1,711	3.78
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/IAS/DE/C/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1,500	3.31
積水樹脂株式会社	1,419	3.13
大同生命保険株式会社	1,418	3.13
株式会社エフピコ	1,348	2.98
株式会社三菱UFJ銀行	1,327	2.93
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,305	2.88
旭化成株式会社	1,250	2.76
デンカ株式会社	1,250	2.76

(注) 当社は自己株式を1,668千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

# 会社概要 (2019年9月30日現在)

## 会社の概要

商号 (英文商号) 積水化成成品工業株式会社 (Sekisui Plastics Co.,Ltd.)  
 本社 大阪市北区西天満二丁目4番4号  
 設立年月日 1959年10月1日  
 資本金 16,533,476,176円  
 グループ従業員数 3,866名  
 営業品目

<セグメント別>

生活分野	市場・用途	工業分野	市場・用途
	農水産資材、食品包装材、流通資材、建築資材、土木資材		自動車部材、車輪部品梱包材、産業部材、産業包装材、電子部品材料、医療・健康用材料
主な製品・商品	エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、インターフォーム、これら成形加工品 ESダンマット、エスレンブロックなど	主な製品・商品	ピオセラン、ライトロン、ネオミクロレン、セルベット、テクポリマー、テクノゲル、テクヒーター、エラストイル、フォーマック、ST-LAYER、これら成形加工品など

## 取締役および監査役

取締役	代表取締役社長	柏原正人	
取締役	池垣徹哉	取締役	廣田徹治
取締役	辻脇伸幸	取締役	塩田哲也
取締役	佐々木勝巳	社外取締役	網本勝彌
社外取締役	馬場宏之	社外取締役	窪田森雄
監査役	常勤監査役	守屋雅之	
常勤監査役	宮下幸一	社外監査役	濱部祐一
社外監査役	長濱守	社外監査役	高坂敬三

# 経営理念

われわれ積水化成品グループは、人間尊重と相互信頼を基本に全員経営を実践し  
“新しい幸せ”を目指して常にイノベーションをし続けます

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日、期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)



**UD**  
FONT

ユニバーサルデザイン  
(UD)の考え方にに基づき、  
より多くの人に見やすく読  
みまちがえにくいデザイン  
の文字を採用しています。